

エコアクション21環境経営レポート (2024年1月～2024年12月実績報告)



2025年 4月25日 作成
協同組合ガスエアコン静岡サービスネット

1、組織の概要

(1)事業所名及び代表者名

・事業所名 協同組合ガスエアコン静岡サービスネット 本社
 ・代表者名 代表理事 辻村 勝
 ・所在地 〒435-0042 静岡県浜松市中央区篠ヶ瀬町1369
 ・連絡先 TEL 053-465-0024 FAX 053-465-0025
 E-mail gas_net_shizuoka@nifty.com

(2)環境管理責任者

・環境管理責任者名 佐藤 貴裕
 ・連絡先 TEL 053-465-0024 FAX 053-465-0025
 ・実施体制 代表者 辻村 勝

- ・環境方針の策定
- ・環境目標及び環境行動計画の承認と指示
- ・環境への取組みを適切に実行する為の準備
- ・全体の評価と見直し
- ・環境管理責任者の任命
- ・経営における課題とチャンスの明確化
- ・効果的で十分な実施体制を構築、全従業員に周知

環境管理責任者

- 事務局 佐藤貴裕
- ・環境負荷の自己チェック”及び”環境への取組みの自己チェック
 - ・環境目標の作成と取組の実施
 - ・環境管理システム全体の構成、運用、維持管理責任者
 - ・環境経営システムの構成、運用、維持状況の代表者への報告

(3)組織の沿革

平成15年3月	出資金3,000千円(4社)にて協同組合ガスエアコン静岡サービスネットを設立する
平成17年6月	組合員として1社加入 出資金3,750千円(5社)となる
平成17年9月	全国GHP連絡協議会会員となる
平成18年6月	出資金10,000千円とする
平成19年3月	ヤマハ発動機(株) ヤマハGHPサービス指定店となる
平成20年12月	組合員1社退会
平成21年4月	組合員1社加入(株式会社ガスエアコン静岡ネットワーク)
平成21年4月	出資金5,690千円とする

(4)協同組合の概要

- ・主要関係団体名 静岡県中小企業団体中央会
- ・組合員名 組合員 東海冷熱工業株式会社
 有限会社ハルシステムサービス
 有限会社GHPサービストーカイ
 株式会社ガスエアコン静岡ネットワーク
- ・賛助会員数 11 社

(5)事業内容

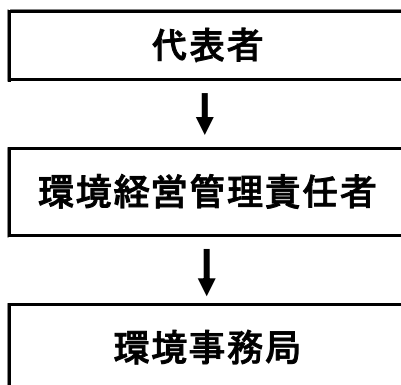
ガスエアコンの定期点検・修理業務・設置工事の共同受注・受注斡旋、
 共同購入、リビルト部品・リユース部品・その他GHP副資材・関連部品の販売

(6)事業の規模

事業年度:1月1日～12月31日				
活動規模	単位	2022年	2023年	2024年
売上高	百万円	18	23	15
従業員	人	4	4	4
床面積	m ²	96	96	96

エコアクション21〈組織体〉

協同組合ガスエアコン静岡サービスネット



辻 村 勝（理事長）

佐藤貴裕（理事）

総務部総務課

担当者	業 務 内 容
代表	- 効果的な環境経営マネジメントを実施する為に役割、責任、及び権限を定め各自が認識できる組織体制を従業員に周知する。 - 環境経営管理責任者を任命しEA21の運用における責任と権限を与える。 - 定期的にエコアクション21全体の取組状況を評価し、全体的な見直しを実施し必要な指示を行う - EA21の実施及び管理に必要な人員、設備、費用等を準備する。 - 環境経営方針を制定する
環境経営管理責任者	- 環境経営方針に基づく目標の設定及び推進確認。 - エコアクション21の運用状況等を代表者に報告する - EA21システムの円滑な運用。 - 各データの取りまとめ、レポート、文書等の作成及び管理。 - 理事長への進捗状況並びに実績の報告、連絡、相談。 - 従業員への協力要請、並び指示。
環境経営事務局	EA21システムの円滑な事務的サイドよりのサポート
全従業員	EA21活動の適切な実践

2 対象範囲

- ・ 対象組織 協同組合ガスエアコン静岡サービスネット 本社
- ・ 対象活動 ガスエアコンの定期点検・修理業務・設置工事の共同受注・受注斡旋、共同購入、リビルト部品・リユース部品・その他GHP副資材・関連部材の販売

3、環境経営方針

《基本理念》

協同組合ガスエアコン静岡サービスネット(以下当組合という)は、冷暖房設備関連資材の販売活動の中で、環境保全に対する取組みを経営課題の一つと考え、組合員と一緒に、地球環境、資源の保護及び環境汚染防止に努めます。

《行動指針》

当組合は、冷暖房設備関連資材販売の事業活動において環境に与える影響を少なくする為に以下の「行動指針」を基に、組合員参加で具体的に模索、行動し継続していきます。

- 1、定期点検の実施を促進させ、機器の性能を安定させCO2の排出を軽減する。
- 2、当組合の活動、販売に関わる環境経営を常に認識し、環境汚染の予防を推進すると共に環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
- 3、当組合の活動、販売に関わる環境関連法令、規制、協定等の要求事項を遵守します。
- 4、当組合は、目的・目標設定を行いその定期的見直しを行う中で以下の項目を環境管理重点テーマとして取組みます。
 - ①定期点検の実施を確実にする為、エアクリナーの個数で機器台数を把握する。
 - ②廃棄物の削減(ガスエアコン部品のリサイクル促進)。
 - ③環境関連情報の提供。
 - ④水資源の削減

この方針は全従業員及び組合員に周知し、達成に努めます。

制 定 2007年10月30日
改 定 2023年12月31日
協同組合
ガスエアコン静岡サービスネット
代表理事 辻村 勝

4 環境経営目標

(1)環境経営システムの【環境への負荷】状況

【環境への負荷の状況(事業所)】

		単位	2022年	2023年	2024年
① 総エネルギー投入量	購入電力 化石燃料	KWh L	550.0 60.9	550.0 41.5	550.0 0.0
【② 温室効果ガス排出量】	【二酸化炭素】	Kg-CO2 Kg-CO2	387.7	342.75	246.40
③ 定期点検件数	工事等の件数	件	19	21	15

(2)環境経営目標

No.	環境目標	担当部門 (担当者)	目標	2025 年 4月 17日 中期環境目標			備 考
			基準(指標)	2023年度	2024年度	2025年度	
1	リサイクルの促進	環境経営管理責任者 (佐藤)	部品品点数 = (15)	15点	15点	15点	前年レベル維持
2	共同購入の促進 環境情報の提供	環境経営管理責任者 (佐藤)	実施回数 = (2 回) = (2 回)	(2 回) (2 回)	(2 回) (2 回)	(2 回) (2 回)	(2 回) (2 回)
3	CO2目標数値	環境経営管理責任者 (佐藤)	kg-CO2 kWh	288.0kg-CO2 544.5kWh	285.1kg-CO2 539.0kWh	282.3kg-CO2 533.6kWh	前年レベル維持
①	CO2排出量削減						前年レベル維持
4	水使用量削減	環境経営管理責任者 (佐藤)	総量 = 3.0m ³	総量(3. 0m ³)	総量(3. 0m ³)	総量(3. 0m ³)	前年レベル維持

* 二酸化炭素排出量の算出に用いた購入電力の排出係数は、(株)エネワンでんき(旧:(株)サイサン)の
2022年度排出係数(0.448)を使用した。

* 化石化燃料については、使用量が少なく削減目標は設定しない。

No.	項目	重点項目	内容	担当	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	備 考
1	再生部品	ガスエアコン部品の リサイクル促進 協力店の拡大	コンプレッサーのリサイクル スタータモーターのリサイクル 基板のリサイクル リユース部品のリサイクル	事務局 佐藤	↔						↔						コア回収を促進する
					↔						↔						
					↔						↔						
					↔						↔						
2	環境情報の提供	協力店に対する 案内等	リユース部品の告知 リビルト部品の販促 コア回収の案内	事務局 佐藤	↔						↔						定期的に情報提供する
					↔						↔						
					↔						↔						
3	CO2排出量削減	購入電力削減	照明SWの適正管理 PC節電モード設定 照明の間引き 昼休みの消灯	事務局 佐藤	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	前年度並みに目標にする
					→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
					→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
					→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
4	水使用量削減	事務所の節水	蛇口の適正な開閉	事務局 佐藤	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	前年度並みに目標にする

6 環境経営目標の実績

NO	項目	2024年度 目標	2024年度 実績	評価	
1	リサイクル	・ガスエアコン部品のリサイクル促進 ・部品点数 50点以上	・部品点数 14点	△	・低下している
2	環境情報の提供	・リビルト部品の販促 年2回	・リビルト部品の販促 年2回	○	・前年比前年並み
3	CO2排出量の削減				
	購入電力	・CO2の排出量 288.0kg/CO2 ・電力 544.5kWh	・CO2の排出量 246.4kg-CO2 ・電力 550.0kWh	○	・前年比前年並み
	化石化燃料	・ガソリン 60L ・CO2の排出量 141.29kg/CO2	・ガソリン 0L ・CO2の排出量 0kg/CO2	○	・削減している
4	水使用量の削減	・水の節水 3.0m ³	・水の節水 3.0m ³	○	・維持している

: 二酸化炭素排出量の算出に用いた購入電力の排出係数は、(株)エネワンでんき(旧:(株)サイサン)の2022年度排出係数(0.448)を使用した。

7 環境経営計画の取組結果とその評価・次年度の取組内容

管理者 佐藤

	重点項目	主要な環境活動計画の内容	実施状況	評価	次年度の取組内容
リサイクル	①ガスエアコン部品のリサイクル促進 ・部品点数	・コンプレッサーのリサイクル ・スタータモーターのリサイクル ・基板のリサイクル ・リユース部品のリサイクル	リサイクル意識は徐々に高まっている 数値的なものは、修理料金に左右される	○ ○ ○ ○ ○ ○	前年度継続維持管理項目とする
環境情報の提供	①協力店の案内等	・リユース部品の告知 ・リビルト部品の販促 ・コア回収の案内	告知、案内は集合教育時実施できている 定期的な在庫の案内 特定機種のコア回収 キャンペーン実施	○ ○ ○ ○ ○ ○	告知案内の充実を図る。
CO2の削減	①購入電力削減	・照明SWの適正管理をする ・PCの節電モード設定 ・必要のない個所の間引き(消灯) ・昼休みの消灯	個々に実績報告	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	前年度継続維持管理項目とする
水使用量	①事務所の節水	・蛇口の適正な開閉	常に意識して実施している	◎ ◎	前年度継続維持管理項目とする

(3) その他の取組結果の評価

全体的に環境に対する理解が高まっています。
空調温度設定、照明の消灯、も徹底できています。

8 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1)環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟等は、過去3年間ありません。

(2)環境関連法規制等一覧表/遵守状況確認表

2025年4月17日

作成者 佐藤

NO.	法規制等名称	遵守事項	資格/許可	適用を受ける設備、活動等	担当	確認
1	廃棄物処理法	<事業系一般廃棄物> ・業者廃棄物 ・分別処理 <産廃廃棄物> ・適正な保管(飛散、油類の流出防止等) ・業者委託処理の書面契約(運搬、処理) ・マニフェスト伝票処理に、A,B2、D,E票の5年間保管 B2、D,E票が返却されなかった場合の知事への報告 ・産業産廃物管理表交付等状況報告 ・保管場所の表示 ・リサイクルの促進		・事務所の廃棄物 ・倉庫の段ボール箱の再利用 ・不良品のリビルト化	事務局 佐藤	4月17日
2	化学部質管理促進法 ・PRTR制度 ・SDS制度	有害又は有害の恐れのある化学物質の適正管理 ・常用雇用者21人以上の事業所 ・第1種指定化学物質(354物質、1t/年以上) の取扱い届出(毎年) ・化学物質等安全データシート(SDS)の提出又は入手 ・対象化学物質の取扱い管理	危険物乙種	・該当なし ・エンジンオイル、クーラントの販売をしているが、メーカー直送している為該当しない。 ・SDSは、入手済み	事務局 佐藤	4月17日
3	フロン排出抑制法	冷媒用フロン回収、破壊装置 ・届出 ・冷媒フロン回収技術者	個人資格	・講習会にてフロンの取扱説明実施 ・講習会参加企業は、全社回収事業所 ・講習会参加者の殆どが資格取得者で未取得者には、取得を勧めている。	事務局 佐藤	4月17日
4	・自動車リサイクル法 ・資源有効利用促進法	廃棄時の適正処理		・乗用車 1台 ・パソコン 2台	事務局 佐藤	4月17日

法規は、毎年1月に確認し、常に新しい法規にて確認出来る体制にします。

水銀含有蛍光灯の廃棄処理は適切に対処します。

9. 教育・訓練の実施

<全従業員対象>

・環境経営管理責任者が全社員を対象として、月1回各自が取り組んだ内容の報告会議を行っている。会議の中で報告された問題点等については、その場若しくは改善・解決策が見出された時点で全員に提案、発表し実行を促している。

・「環境への負荷と環境への取組状況の把握及び評価」を行うためのデータ収集の担当を割り振り、手順書又は同僚からの指導を受け各自取り組んでいる

<現場作業員>

現場から排出された建設廃棄物は、リサイクルされる原料となるように現場で分別を行っている。

当社業務において欠かすことの出来ないフロン排出抑制法の遵守事項として定められている業務において、必須の資格となる冷媒回収技術者及び第一種、第二種冷媒フロン類取扱技術者の取得を全作業員に課している。

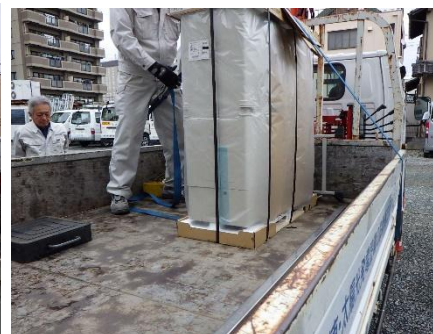
使用車両には工事部長を管理責任者とし、作業員の車両ごとに消火器・水入り用バケツが常備されており、入場頻度の多い協力業者さんには同意の上、消火器・水入り用バケツを貸与している。さらに同部長はエコドライブ推進者となっており、他の作業員へもエコドライブを呼びかけている。

10.環境経営上の緊急事態の想定、予防策

ユニック車での機器の運搬及び諸々付属品運搬時緊急事態を想定したときの対応策及び有効性の検証

訓練日時 R7.1.19(金)9:00～9:30

緊急事態を引き起こす要因	想定される現象	対策、予防措置	有効性の検証
積み付け、固縛が不十分 偏荷重 荷崩れ 車両の横転 荷台、あおり、機器の破損・破壊 車間距離の詰めすぎ 知らない道の走行 突然発生したトラブルによる心理的動揺 運転者の未熟さ 運転中の急ブレーキ 〃 急ハンドル 〃 急な車線変更 乱暴な急発進 道路の凸凹、段差、悪天候時の走行	荷台又はあおりの破損 機器等付属部品含む破損 機器破壊によるオイル、ガス漏れ 訓練 対象者4人/実施者4人	荷台のあおりはしっかり固定する 機器等荷台で動かないようロープ、バンド等で確実に固定する 固定した後は必ず責任者が確認し手直しすべき箇所が認められた場合は、作業を行った担当者と共に再度確実に固定し技術面の向上も図っていく オイル吸着マットを車内に積んでおく 走行中少しの違和感でも感じた時は安全な場所で停車し荷台の確認をする 長距離走行する時は2～3時間を目安に安全な場所で停車し固縛状態の点検を実施する 現地までの経路の確認 回り道でも安全な経路で向かう 車間距離をしっかりとる 到着時間に余裕をもって出発する 当日の天候、道路情報、道路状況は的確に把握する 当日の道路状況によっては運転者の適性を考慮する 常日頃から平常心での運転を心掛ける	定例の技術会議にて全作業員が参加し、検証を行った。 現時点において対応策予防措置に問題はなかった。 今後作業員から問題提起等が起きた時には、随時解決し、必要に応じて内容を変更していくことを確認した。



11.代表者による全体評価、見直し結果

全体評価

今回で認証取得(2008年6月13日)後、第9回中間審査となりました。
当時、静岡県内の組合組織では2番目の取得組合と認識しております。
この1年を振り返りますと変化の激しい実体経済構造の1年でありました。組合員4社(各少数会社)での取り組みではありますが、当EA21担当者、事務担当者の取り組みには評価申し上げます。
組合事務所は、組合員会社内であるため環境活動の一部共有化もあるため、共に共用、協調等必要ではありますが、連携が良くとられていると評価します。

見直し

少数組合員の構成ではありますが、同業種であるため共有意識の高まりは感じる。
今後の取り組みには、さらに環境問題として地球温暖化による「冷媒フロンガス回収・破壊・再生化」事業連携化の強化、共有化の見直しに引き続き重要課題として検討、取り組み必要と考えます。

2025年4月20日
協同組合ガスエアコン静岡サービスネット
代表理事 辻村 勝